

お茶の水女子大学での最後の学期

パリ・シテ大学
ローラ・マエバ・スシン
k2590082



お茶の水女子大学での2学期目、そして最後の学期がもうすぐ終わるところです。今学期も忙しい日々が続きましたが、全体としては前学期より少し余裕を持って過ごすことができたと思います。

今学期は、新しい人たちと出会う機会に恵まれ、フランス語カフェの活動も続けられました。フランス語カフェは今学期も大変好評で、多くの方に参加していただきました。また、友人たちと過ごす時間も増え、日本での留学生生活を満喫し、一緒に出かけたり旅行をしたりすることもできました。さらに、修士論文の執筆も始め、年末まで取り組む予定です。

学業面でも私生活でも、決して楽なことばかりではありませんでしたが、お茶の水女子大学のキャンパスや日本で過ごした日々は、これからも忘れられない大切な思い出になります。また、この一年を通して良い成績を収めることができたことを誇りに思います。

お世話になった皆様へ感謝の気持ちを伝えたいと思います。まず、いつも温かく見守ってくださった指導教員の申瑛榮先生に心より感謝申し上げます。また、今学期も継続して親身にサポートしてくださったチューターの太室恵美さんにも深く感謝申し上げます。そして、今学期フランス語カフェに参加し、活動を支えてくださった皆さんにも、ありがとうございました。皆さんの優しさに感動し、一緒に過ごした時間は私にとってかけがえのない宝物です。

さらに、お茶の水女子大学で出会ったすべての先生方にも感謝申し上げます。皆様のおかげで、自分の将来に役立つ多くのことを学ぶことができました。もちろん、一年間ずっと支えてくれたクラスメート、友人、そして家族にも心から感謝しています。皆さんの支えがあったからこそ、最後まで精一杯頑張ることができ、留学生生活を心から楽しめました。日本で出会った方々と、これからもまたお会いし、つながりを大切にしていけたら嬉しく思います。

最後に、皆さん、本当にありがとうございました。皆さんのことがとても恋しくなります。 ☺